

令和3年度栗山消防団 春季連合消防演習表彰者 (敬称略)

令和3年度栗山消防団春季消防演習および南空知消防組合消防演習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されましたが、左記の方々および団体が表彰されました。

消防庁長官表彰

表彰旗

南空知消防組合栗山消防団

◆永年勤続功労章

本団副団長

伊藤 三也

◆感謝状(退団者)

元第2分団副団長 早苗 雄二
元第2分団部長 瀬尾 正樹

◆精進章

第2分団部長

古田 敏幸

◆勤労章

第1分団副分団長 土井 猛
第2分団部長 水上 一浩
第2分団班長 工藤 正史
第3分団班長 鎌田 直樹

◆精進章(勤続30年)

第1分団副分団長 塩見 望
第2分団副分団長 川畑 憲吾
第2分団班長 橋元 治

◆精進章(勤続20年)

第3分団副団員 飯尾 隆亮
第3分団副団員 大西 剛史
第3分団副団員 川崎 太樹

◆精進章(勤続15年)

第2分団副団員 瀧澤 茂和
第3分団副団員 不破 潤
第3分団副団員 清水 哲矢
第3分団副団員 小川 貴臣
第3分団副団員 富樫 真由
第3分団副団員 猪熊 政信
第3分団副団員 國岡 晃平

◆感謝状(退団者)

元第1分団副団員 猪股 慎吾
元第1分団副団員 森 茂樹
元第1分団副団員 笹嶋 基樹
元第1分団副団員 高橋 裕輔

◆精進章(勤続10年)

第1分団副団員 鈴木 孝史
第1分団副団員 富樫 崇裕
第2分団副団員 西岡 政則
第2分団副団員 高野 勝則
第2分団副団員 正井 博美
第3分団副団員 大野 浩司

◆精進章(勤続5年)

第1分団副団員 山崎 崇朗
第1分団副団員 田中 成明
第2分団副団員 菅野 寿

◆優秀章

第1分団副団員 端 師孝
第1分団副団員 錦古里和宣
第2分団副団員 平河内寿明
第2分団副団員 蛇谷 慎也
第3分団副団員 大西 剛史
第3分団副団員 山下 正義
第3分団副団員 岸田 慶志
女性消防部副団員 後藤 美雪



新型コロナウイルス感染防止による、行事・イベント中止のお知らせ

6月25日現在、感染拡大防止のため中止が決定した行事・イベントは下記のとおりです。

- 第46回くりやま夏まつり
- 匠まつり
- 第1回くりやまハーフマラソン2021

～功績をたたえて～

令和2年度消防功労者消防庁長官表彰・永年勤続功労章

南空知消防組合栗山消防団が令和2年度消防功労者消防庁長官表彰を受け、4月27日、佐々木学町長に報告しました。

同表彰は毎年、3月7日の消防記念日に実施。栗山消防団は、防災思想の普及や消防施設整備などの功績が認められ、表彰旗を授与されました。

また、長年の消防活動への貢献が認められ、永年勤続功労章を伊藤三也副団長が受賞しました。

瑞宝単光章(消防功労)

元栗山消防署消防司令の芦田俊之さんが瑞宝単光章(消防功労)を受章し、5月18日、役場で伝達式が行われました。

芦田さんは昭和45年に消防士として拝命され、消防業務に従事。42年間の長きにわたり尽力された功績が認められ、今回の受章となりました。

芦田さんは「これまで現場での救助活動など、さまざまなできごとがありました。このような章を受章できて光栄に思います」と話していました。

生活のなかの伝承文化

「こんにちは! 町史編さん室です」欄にこれまで私が記述した回は13回掲載され、今号で14回目です。その掲載一覧を読み直してみても、私が町史編さん作業のなかで感じ、考えたことをあらためて思い出しました。

編さん作業終了を目前にしてさらに考えるのは、先人達の出身地の文化が栗山に伝承され、自然や時代のなかで変容、創造し現代に伝わる、無形民俗文化財のことです。

新「栗山町史」第8章平成の生活風景は、右記の意識から設定された章です。第1節が年中行事、暦で知る栗山、栗の実俳句会自然詠。第2、3節は栗山にゆかりのある方々の語りなど。そして第4節が今も語り継がれている俗信・ことわざなどの言い伝えで構成されています。その一部を紹介します。

- 栗山移住とその後の話
- 開拓草創期の大水害と慰霊碑建立の話
- 幼少期、能登(石川県)出身



「米は八十八回の手間がかかる」

【問い合わせ】

町史編さん室
☎7820

歴史に生きる私たちのなかには、時代別に明確に区分けすることができない、重層的に伝承されている世界があることを一層感じる、昨今の編さん作業です。(阿部)

○「米は八十八回の手間がかかる」などの俗信・迷信・ことわざ

の祖母から聞いた話を絵本にして地域の子ども達に語っている話